

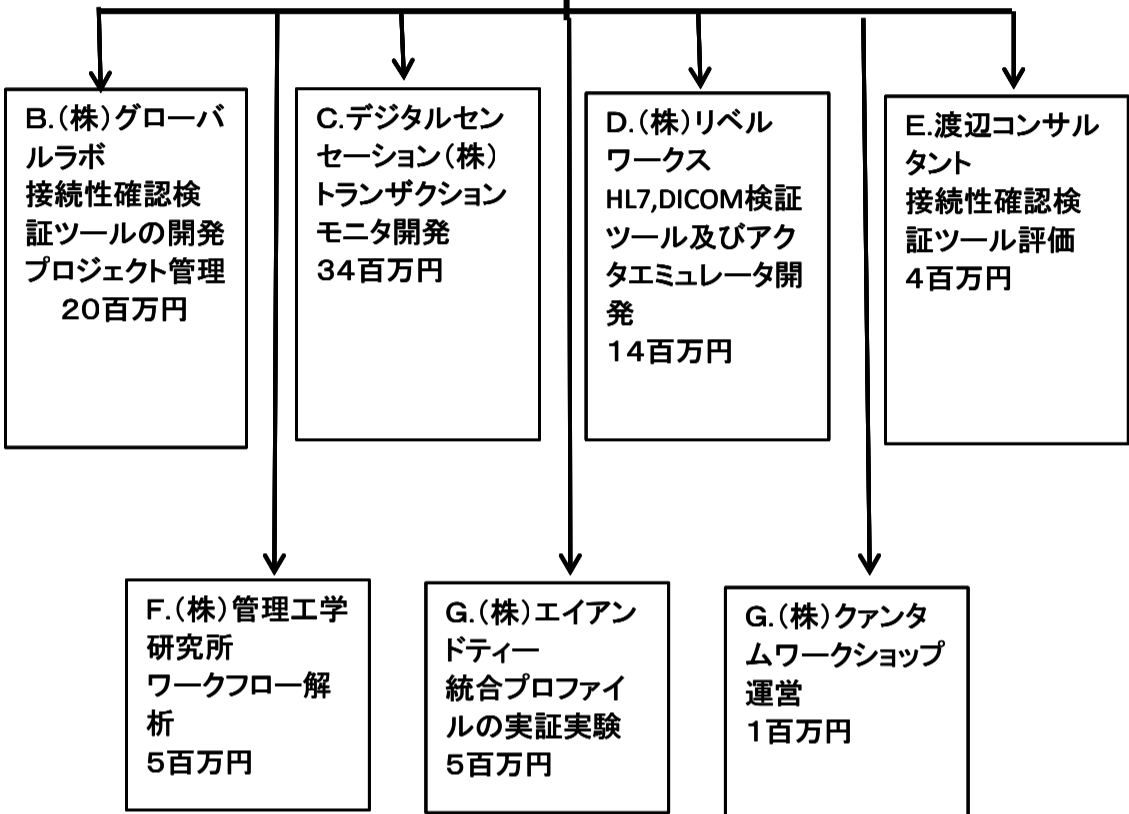
行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	医療情報システムの相互運用性確保のための対向試験ツール開発事業	事業開始年度	平成19年度		作成責任者	
担当部局	医政局	担当課室	政策医療課 医療技術情報推進室		室長 山本 要	
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	平成19年3月:医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月:重点計画2008 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月:i-japan戦略2015 平成22年5月:新たな情報通信技術戦略			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各種情報システムの相互運用性確保を行うことで、医療機関のマルチベンダにおける費用負担の軽減に資するものであり、そのための対向試験ツールの開発を行うものである。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療機関内で使用される各部門系システムについての標準化を進めるため、異なるベンダ(メーカー等)間のシステムを対向試験ツールを使用し、実際に相互に接続して相手のシステムと支障なく情報のやりとりを可能にするための試験を行い、その結果を広く公表するものである。 これにより、どのシステム同士が接続可能か把握することができ、その結果でコンポーネント化(部品化)された接続可能なシステムを医療機関が選択して導入することができる。					
実施状況	各システム業者を一同に会し、接続試験を行い、その場で、開発した試験ツールを使いテストを実施している。 現在80社が参加し、接続試験を実施したところである。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	140	141	132	108	91
	執行額	138	122	112		
	執行率	98.6%	86.5%	84.8%		
	総事業費(執行ベース)	138	122	112		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	事業終了後、委託先から提出された実績報告書に基づき、全ての経費について支出先、使途をチェックしている。したがって、事業目的の実現や効果の観点からの検証は行われている。				
	見直しの余地	予算額と執行額の乖離の理由を分析の上、予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。				
予算監視の所見率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 予算と執行の乖離の要因等を精査し、平成22年度より予算の縮減を図っているところであるが、システム開発費等の見直しによりさらなる予算の縮減を図る必要がある。					
補記						

厚生労働省
112百万円



【企画競争】
A.一般社団法人日本IHE協会
112百万円

(医療情報システムの相互運用を
確保するための接続試験用ツールの開発を実施)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。用途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.一般社団法人日本IHE協会			E.渡辺コンサルタント		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費	検証ツールの開発等	83	委託費	接続試験確認検証ツール評価	4
旅費	国際標準に遵守するための委員会	7			
雑役務費	資料翻訳	5			
印刷製本費	パンフレット印刷・会議資料等印刷	5			
消費税	消費税	5			
人件費	謝金	3			
借料	ツール開発器材・会場等	3			
消耗品等	コピー用紙等	1			
計		112	計		4
B.(株)グローバルラボ			F.(株)管理工学研究所		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費	接続性確認検証ツールの開発プロジェクト管理	20	委託費	ワークフロー解析	5
計		20	計		5
C.デジタルセンセーション(株)			G.(株)エイアンドティー		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費	トランザクションモニタ開発	34	委託費	統合プロファイルの実証実験	5
計		34	計		5
D.(株)リベルワークス			H.(株)クァンタムワークショップ		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費	HL7,DICOM検証ツール及びアクタエミュレータ開発	14	委託費	ワークショップ運営経費	1
計		14	計		1